

授業科目名	日本語学（２）	単位数	２
担当教員名	乾 浩	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	外国人に日本語を教える立場、日本人に日本語学を教える立場からの教育経験を踏まえて、この科目を担当している。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>（１）日本語の「文字表記・語彙」について理解する。</p> <p>（２）外国語として日本語を捉え、客観的に日本語を見直す視点を養う。</p> <p>（３）自分の言語生活を内省する能力を育成する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>この授業では『日本語教育』で学修した知識を前提に「文字表記・語彙」について、更に深く学ぶことを目的とする。外国語としての日本語を客観的に見つめ、日本語学習者に日本語を教える際に必要な日本語の中で「文字表記・語彙」の知識を幅広い面から考察していく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第１回：第４章「文字・表記」 １．常用漢字表について ２．漢字の筆順</p> <p>第２回：第４章「文字・表記」 ３．送り仮名の付け方</p> <p>第３回：第４章「文字・表記」 ４．現代仮名遣い</p> <p>第４回：第４章「文字・表記」 ５．外来語の表記</p> <p>第５回：第４章「文字・表記」 ６．ローマ字の表記</p> <p>第６回：第４章「文字・表記」 ７．くぎり符号、くり返し符号、横書きの書き方など</p> <p>第７回：第４章「文字・表記」日本語の文字の歴史 １ 表意文字・表音文字、漢字の伝来</p> <p>第８回：第４章「文字・表記」日本語の文字の歴史 ２ 万葉仮名・平仮名・片仮名、ローマ字</p> <p>第９回：第４章「文字・表記」日本語の文字の歴史 ３ 六書</p> <p>第１０回：第４章「文字・表記」日本語の文字の歴史 ４ 国字、新字体と旧字体、活字体</p> <p>第１１回：第５章「語彙」 １．語彙と語の違い ２．語種</p> <p>第１２回：第５章「語彙」 ３．語構成</p> <p>第１３回：第５章「語彙」 ４．語彙の体系</p> <p>第１４回：第５章「語彙」 ５．語を数える</p> <p>第１５回：第５章「語彙」 ６．位相</p> <p>定期試験</p>			
<p>スクーリングでの学修内容</p> <p>（１）「送り仮名の付け方」「日本語の文字の歴史」「語種」を中心に復習する。</p> <p>（２）各単元で学修する過程での疑問点は、Google classroomの方に提出し、共通の疑問点は、スクーリングで取り上げ説明する。</p> <p>（３）（２）以外の質問については、適宜個別に対応する。</p>			
<p>教科書</p> <p>増補改訂版『新・はじめての日本語教育・Ⅰ』アスク出版</p> <p>高見澤孟 著、監修、ハント蔭山裕子、池田悠子、伊藤博文、宇佐美まゆみ（2016年）</p>			

参考文献

藤堂明保他編(2018)『漢字源 改訂第六版』学研プラス

※教科書の巻末の付録に各章ごとに参考図書が紹介されているので参照すること。

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。